



鳥取大学拠点の学生団体で、学生と企業、地域をつなぐ「暮らすインターン」プロジェクトを展開している。地域で暮らし、働き、地域を知ると同時に、2021年度の内閣府主催「地方創生アイデアコンテスト」で全国2位、22年度の令和新时代創造県民運動活動表彰で優秀賞を受賞した。

18年に工学部で土木を学ぶ学生が地方の建設業界の魅力を伝えるため、学生団体「ツナガルドボク」を立ち上げ、既存のインターンでは地域の魅力が伝わっていないとの課題に対して、「暮らすインターン」を構想した。

これまでに若手技術者を招いた交流会や学生視点で企業の悩みを解決する学生コンサ

暮らすインターンで地域理解

■ 71 □

つながるライフスタイル (鳥取市)

ルタント、学生と社会人の交流を深める「社会人メシ」、企業を大学に呼ぶ「逆インターンシップ」、公務員ワークショップ、工事現場見学などのイベントを展開した。

50社以上の企業が参加、協力し、活動が県内建設業への就職に結びついた。今年春、鳥取キャンパスの

「暮らすインターン」は井木組、琴浦町、中小企業団体中央会の協力で2度実施。今年夏も8月27日から1週間、井木組と大山乳業の協力で「コトウラ暮らすインターン」を計画する。

移住定住体験施設「琴浦さんち」で宿泊。大山乳業での酪農体験や新商品開発のグループワーク、井木組での工事現場実習のほか、サウナ体験やジャム作り、キャンプファイアなどを予定している。

代表の森さんは「長期的には県中小企業団体中央会や市町村と連携して、県全体の事業に発展させていきたい」と抱負を語る。



2022年夏のインターンシップで琴浦町の農家民宿「たつこの掌」に集合した学生や住民、井木組の若手社員